

経営改善目標（目標期間：令和 3 年度～令和 6 年度）

(法人名) 公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)

1 法人の使命・担うべき役割

公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) は、神奈川県からの支援を受け、日本政府のイニシアティブにより設立、平成 24 年からは公益財団法人として、アジア太平洋地域における持続可能な開発の実現に向けた実践的な政策研究を実施することを使命としている。

令和 3 年 7 月から令和 7 年 6 月の 4 年間（令和 3～6 年度）に実施する第 8 期統合的戦略研究計画では、引き続き、多様なステークホルダーとの協働による「知識の共創」、そして複雑に関連する課題を統合的にとらえる課題解決型研究を強みに、持続可能な社会への移行に向けた行動を促進する「チェンジ・エージェント」の役割を担っていききたい。

2 県が法人に期待する役割

アジアを代表する国際的な研究機関として認知度が高まる中、神奈川県においても、ネットゼロでレジリエントな持続可能な社会への移行に向けた取組が進みつつあるところ、当該法人が、国内外におけるこれらの課題に対する研究結果や政策提言を国内外に発信するとともに、これらの成果を県の政策に生かし、県民に対して様々な場で発信することを期待する。

3 法人運営における現状の課題

県民サービスの向上については、県が支援する国際的な研究機関としてその取組を広く発信するとともに、県においても近年ニーズが高まっているネットゼロでレジリエントな持続可能な社会への移行のための支援を、県や県内の関係機関と協働して、政策担当者のみならず一般市民や専門家等の多くの方々へ広く知見の提供や情報の発信を行うことが重要であると考えている。そのため、関係機関等と連携して開催した公開イベント（シンポジウムやワークショップの主催・共催、協賛等、オンラインでの開催も含む）あるいはこれらのイベントや委員会・検討会、公立学校等の地域教育機関への講師派遣等を積極的に実施して貢献する。

収支健全化に向けた経営改善については、海外も含めた多様な外部資金の獲得による収入確保に努めるとともに、付加価値率をより高めて、引き続き、公益財団法人として健全な収支バランスを保つよう努める。

4 経営改善目標

【県民サービスの向上等】

(総括的目標)

アジア太平洋地域のニーズに即した実践的な研究成果や政策提言を国内外に広く発信・アピールし、環境問題への取組に幅広く貢献するための活動数及び、県や県内の関係機関と協働して実施あるいは講師派遣等により実施した、持続可能な社会への移行のための支援の活動数を報告する。

No. 1 政策的・実践的研究成果の発信強化（ウェブサイトのページビュー数）（件）

令和 2 年度 実績(見込)	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
854,000	874,000	894,000	914,000	934,000

目標項目の選定理由 (達成により生じる効果)	昨今は報告書の電子化だけでなく、ウェビナーやオンライン研修など、成果物の多様化やオンライン利用が進んでいる。それらをウェブサイトに掲載・公開し、SNS やメールニュース等を活用した情報発信やウェブサイトへの誘導を行うことで、国内外の利用者に広く成果を発信している。ウェブサイトの閲覧数をモニタリングすることで、IGES の活動及び研究成果の発信状況を把握することが重要である。
目標値の設定根拠	過去4年間（第7期統合的戦略研究計画）の実績

No. 2 持続可能な社会への移行のための地域貢献（件）

令和2年度 実績(見込)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
15	15	15	15	15
目標項目の選定理由 (達成により生じる効果)	<p>IGES の使命は、持続可能な社会への移行に向けた行動を促進することであるが、その変化（インパクト）を直接計測することは困難であることから、行動の変化を促進する協働やステークホルダーへの直接的な働き掛けの実施状況をモニタリングすることが適当と考えられる。</p> <p>ただし、令和元年度以降、COVID-19 の影響により、これまで開催してきた対面型の支援の実施が困難になってきているが、今後、オンライン会議システムを活用した開催等による実施について検討を進め、県とも協議し、必要に応じて目標の見直しを行う。</p>			
目標値の設定根拠	過去4年間（第7期統合的戦略研究計画）の実績			

【収支健全化に向けた経営改善】

(総括的目標)

海外の機関も含めた多様な資金提供元からの資金の獲得による安定した収入確保に努めるとともに、電子決裁導入をはじめとする所内の事務効率化を推進し、人員増加も抑制しながら、引き続き、公益財団法人として健全な収支バランスを保つよう努める。

No. 3 外部資金収入額（百万円）

令和2年度 実績(見込)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2,152	2,200	2,200	2,200 2,000	2,200 2,000
COVID-19 の影響による事業活動への影響及び事業活動形態の変化に鑑み、目標値の見直しを行った。（令和5年度：2,200 → 2,000、令和6年度：2,200 → 2,000）				
目標項目の選定理由 (達成により生じる効果)	安定した財務基盤を確保するため。			
目標値の設定根拠	令和3年度実績及び令和4年度の予算を基に設定した。 (参考) 令和3年度実績 1,856 百万円 令和4年度予算 2,063 百万円			

* 今後の県からの財政的支援（または損失補償残高）の見込み

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
86,455千円	86,455千円	86,455千円	86,455千円

5 その他特記事項

IGES は4年毎に策定する統合的戦略研究計画に沿って活動を実施していることから、本経営改善目標も令和3～6年度の4年間の設定とし、令和7年度以降の目標値は第9期統合的戦略研究計画の策定に合わせて設定する。